

日本家族計画協会セミナー

■第13-14回 性の多様性を学ぶセミナー

日時：

【第13回】12月9日（土）

【第14回】2024年2月23日（金）
～3月3日（日）

開催方法：

【第13回】現地会場、オンデマンド配信

【第14回】オンデマンド配信（第13回の一部を収録・編集した内容）

会場：KFC ホール（東京都墨田区）

※会場版受講者はオンライン版も受講可能

対象者：保健師、助産師、看護師、養護教諭、教員、医師、ソーシャルワーカー、薬剤師などの専門職、総務担当、行政関係者、人権擁護委員など性の多様性に関心のある方

講師：日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）

プログラム：「LGBTQのライフイベントの現状」／「性的指向と性自認の多様性に関する教員の意識と取り組みの実例」／「LGBTQの子を持つ親の調査」をひも解く／日高教授監修DVD教材視聴／情報交換会・質疑応答

会場定員：80名

受講料：会場、オンラインとも1万6500円

申込締切：

【会場】11月21日（火）

【オンライン】2024年1月29日（月）

※受講特典：日高教授監修教材プレゼント『女子のためのザ・100アンサーズ』『ザ・100アンサーズ Another ver.』

※思春期保健相談士認定カード更新対象セミナー（1カウント）、日本助産評価機構「アドバンス助産

師」更新のための選択研修該当セミナー

■第11回 切れ目のない妊娠・出産・育児支援のためのセミナー—周産期メンタルヘルスから児童虐待防止へ

日時：2024年2月3日（土）

会場：日本教育会館第一会議室（東京都千代田区）

プログラム：講義①「保育基本方針に基づく『健やか親子21（第2次）』を理解する」山縣然太郎（「健やか親子21 最終評価等に関する検討委員会」委員、「保育基本法成育医療等協議会」副議長、山梨大学大学院総合研究部社会医学講座教授）／②「周産期メンタルヘルス——体となって産後うつを防ぐ必要性」鈴木利人（順天堂越谷病院院長／日本周産期メンタルヘルス学会功労理事）／③「児童虐待とその防止のための連携」仙田昌義（国保旭中央病院小児科部長）／④「助産師視点から考える切れ目のない支援に必要なこと」高田昌代（日本助産師会会長／神戸市看護大学看護学部教授）

対象者：切れ目のない支援に関わる全ての方（保健師、助産師、医師、看護師、教師、保育士、ソーシャルワーカー、児童福祉司、社会福祉士、行政担当者、看護教員、養護教諭、病院事務員など）

定員：300名

申込締切：2024年1月16日（火）

受講料：1万6500円

※思春期保健相談士認定カード更新対象セミナー（1ポイント）、日本助産評価機構「アドバンス助産師」更新・再認証申請のための選択研修該当セミナー

■共通

申込方法：下記URLのセミナー

覧受付フォームから

URL <https://www.jfpa.or.jp/seminar/>

問い合わせ先：一般社団法人日本家族計画協会 研修担当

☎ 03-6407-8973

URL <https://www.jfpa.or.jp/>

第12回日本公衆衛生看護学会学術集会

日時：2024年1月6日（土）～7日（日）

開催方法：現地開催、オンデマンド配信（2024年1月6日～2月12日）

会場：北九州国際会議場（北九州市小倉北区）

テーマ：「自分らしく生きる」を支える公衆衛生看護活動を考える—新たな地域包括ケアの扉を拓く

プログラム：会長講演『「自分らしく生きる」を支える公衆衛生看護活動を考える—新たな地域包括ケアの扉を拓く』尾形由起子（福岡県立大学看護学部教授）／基調講演「健康格差縮小に向けた取組—今後の地域包括ケアの展開にむけて」近藤尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野教授）／特別講演「公衆衛生を衛る保健師の育成（仮）」村嶋幸代（大分県看護科学大学学長）／公衆衛生看護技術セミナー1「公衆衛生看護におけるアドボカシー—保障されるべき生活・健康がまもられていない人々にむけて」鳩野洋子（九州大学大学院教授）／2「アフガンに命の水を—中村哲氏が遺したもの」藤田千代子（ピースジャパンメディカルサービス総院長補佐、ベシャワール会理事）／3「公衆衛生看護におけるヘルスヒューマニティーズ—保健師の人間性を示す態度教育の足掛かりとして」麻原きよみ（聖路加国際大学大学院看護学研

究科) / 4「データヘルスの効果的な推進—結果の出る保健指導に向けて」阿波友理、中津留深雪(ヘルスサポートラボ) / 5「健康長寿社会を実現するメディカルフィットネスの提案」鶴田来美(宮崎大学教授)他 / 6「くつ王に学ぶ! 感染症の最新情報—感染症の基礎と現状」忽那賢志(大阪大学大学院教授) / 7「自分らしいキャリアデザインと政策目標の実現のためのキャリアパス—自治体保健師の立場から」清田啓子(北九州市総務局) / シンポジウム / パネルディスカッション / ほか

参加登録期間:

~2024年2月12日(月祝)

参加費:

会員1万1000円、非会員1万2000円、学部生・大学院生5000円

事務局: 公立大学法人福岡県立大学看護学部

✉ japhn12@fukuoka-pu.ac.jp

運営事務局: 株式会社ユピア

☎ 052-872-8101

✉ japhn12@yupia.net

URL <https://japhn12.yupia.net/>

在宅人工呼吸器に関する講習会

日時:

【eラーニング】2024年1月9日(火)~2月29日(木)

【実地開催】ハンズオン(メーカー担当者による実演)・講師陣とのQ&A

3月11日(月)13:00~17:05

会場: 大田区産業プラザPiO 大展示ホール(東京都大田区)

プログラム(eラーニング):「在宅人工呼吸療法(HMV)の医学的側面」石原英樹(医療法人徳洲会八尾徳洲会総合病院) / 「呼吸器疾患、その他のHMV」坪井知正(国立病院機構南京都病院) / 「小児のHMV」石川悠加(国立病院機構北

海道医療センター) / 「ALS患者に対する在宅人工呼吸療法」近藤清彦(社会医療法人財団慈泉会相澤病院・相澤東病院) / 「HMV療養者の立場から」青木良浩(日本ALS協会東京都支部事務局長) / 「HMV療養者への訪問看護」中山優季(東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター)

※3学会合同呼吸療法認定士認定更新用および認定講習会の受講申込要件の点数25点、MDIC認定更新用10ポイントを取得できる

対象者: 在宅医療機器を取り扱う医師、保健師、看護師、准看護師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士等

受講料:

eラーニング+ハンズオン・講師陣とのQ&A:1万6000円、eラーニングのみ:1万1000円

申込方法: 下記URLから

URL <https://www.jaame.or.jp/iryo/hmv.html>

申込締切: 2024年2月16日(金)

問い合わせ先: 医療機器センター研修事業部「在宅人工呼吸器に関する講習会」係

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-34 本郷MKビル2階

✉ iryo-zaitaku@jaame.or.jp

☎ 03-3813-8157

日本地域看護学会第27回学術集会

日時: 2024年6月29日(土)~30日(日)

開催形式: 現地開催(ライブ配信)、オンデマンド配信(~7月31日)

会場: AER(アエル)(仙台市青葉区)

テーマ: 地域看護のソーシャルイノベーション—地域社会の包容力を高

める看護の挑戦

プログラム: 会長講演「地域看護のソーシャルイノベーション」大森純子(東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野教授) / 基調講演「地域看護の可能性と展望」秋山正子(株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括所長) / 「地元に根を張る地域看護の挑戦」中村順子(NPO法人ホームホスピス秋田理事長) / 特別鼎談「地域社会と共に変革する看護」浦山美輪(東北大学病院副院長・看護部長)、杉内美佐子(医療法人社団愛生会昭和病院副院長・看護部長)、日向園恵(日本赤十字社石巻赤十字病院看護部、老人看護専門看護師) / シンポジウム / リレートーク / 教育講演 / 研究セミナーほか

事前参加申込: ~2024年6月3日(月)

参加費:

【前期】会員1万円、非会員1万2000円、学生(大学院生除く)2000円

【後期・当日】会員、非会員ともに1万2000円、学生(大学院生を除く)2000円

一般演題・ワークショップ募集期

間: ~2024年2月9日(金)

運営事務局: 株式会社ユピア

〒465-0005 愛知県名古屋市熱田区池内町3-21

☎ 052-872-8101

✉ jachn27@yupia.net

URL <https://jachn27.yupia.net/>